

貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

北海道北斗市清水川142番地12

株式会社 函館なとり

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	244,355	流動負債	538,773
現金及び預金	123,784	支払手形	13,904
売掛金	106,827	短期借入金	235,000
貯蔵品	2,069	リース債務	109,363
前払費用	4,029	未払金	58,154
未収入金	7,644	未払費用	19,899
		未払法人税等	27,444
固定資産	1,218,662	未払消費税等	50,664
(有形固定資産)	1,214,257	賞与引当金	24,343
建物	467,343		
構築物	4,155	固定負債	360,586
機械及び装置	50,241	リース債務	334,381
車両運搬具	0	退職給付引当金	25,080
工具、器具及び備品	291	資産除去債務	1,125
土地	248,480		
リース資産	443,744	負債合計	899,360
(無形固定資産)	818	(純資産の部)	
電話加入権	818	株主資本	563,658
(投資その他の資産)	3,587	資本金	10,000
出資金	20	利益剰余金	553,658
長期前払費用	3,401	その他利益剰余金	553,658
敷金及び保証金	165	繰越利益剰余金	553,658
		(うち当期純利益)	135,609
		純資産合計	563,658
資産合計	1,463,018	負債純資産合計	1,463,018

※第23期

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
- ② たな卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品……………最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除く）…………定率法
ただし、平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）
については、定額法によっております。
- ② リース資産…………リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法

(3) 引当金の計上基準

- ① 賞与引当金……………従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき、当事業年度に見合う分を計上しております。
- ② 退職給付引当金……………従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

a. 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

b. 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10 年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の定数（10 年）による定額法により按分した額を費用処理しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理……………消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	1,996,147 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債権	114,201 千円
短期金銭債務	<u>5,649 千円</u>
合計	<u>119,851 千円</u>

3. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高	
① 営業取引による取引高	
売上高	1,276,780 千円
経営指導料	6,852 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

該当事項はありません。

5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	2,818,290 円 75 銭
(2) 1株当たり当期純利益	678,048 円 44 銭

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

損益計算書上の当期純利益	135,609 千円
普通株主に帰属しない金額	— 千円
普通株式に係る当期純利益	135,609 千円
普通株式の期中平均株式数	200 株

6. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。